



平成22年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月10日

上場会社名 田崎真珠株式会社

上場取引所 東

コード番号 7968 URL <http://www.tasaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役・代表執行役社長

(氏名) 田島 寿一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・専務執行役

(氏名) 飯田 隆也

TEL 078-302-3321

四半期報告書提出予定日 平成22年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年10月期第3四半期の連結業績(平成21年11月1日～平成22年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第3四半期	12,103	△15.0	△1,450	—	△1,739	—	△1,647	—
21年10月期第3四半期	14,246	—	51	—	△296	—	△5,568	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第3四半期	△9.36	—
21年10月期第3四半期	△31.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年10月期第3四半期	23,123	14,792	63.0	82.73
21年10月期	25,872	16,326	62.9	92.52

(参考) 自己資本 22年10月期第3四半期 14,560百万円 21年10月期 16,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年10月期	—	0.00	—		
22年10月期(予想)				0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年10月期の連結業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	△18.5	△2,000	—	△2,200	—	△2,400	—	△13.64

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年10月期3Q 37,805,664株 21年10月期 37,805,664株

② 期末自己株式数 22年10月期3Q 1,813,392株 21年10月期 1,809,258株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年10月期3Q 35,994,221株 21年10月期3Q 36,005,285株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	3
	(1) 重要な子会社の異動の概要	3
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書	5
	【第3四半期連結累計期間】	5
	【第3四半期連結会計期間】	6
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
	(4) 継続企業の前提に関する注記	8
	(5) セグメント情報	8
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部業種においては企業収益の改善がみられるものの依然として雇用情勢は厳しい状態にあり、景気は先行き不安のまま推移いたしました。

宝飾業界におきましては、景気の不安定感から個人消費の冷え込みによる業績低迷が拭いきれず、環境は引き続き厳しい状況下にありました。

このような状況のもと、当社グループは新C I 導入をはじめとする新ブランド戦略を引き続き推進し、本年4月にフラッグシップ店舗である銀座本店のリニューアル・オープンを行い、販売拡大を進めております。

売上面におきましては、個人消費環境の引き続きの低迷、及び、それに伴う当社グループの既存ビジネスの想定以上の沈み込み等により売上高は減少いたしました。また、売上の落ち込みを補う効果が期待される新ブランド戦略については、銀座本店の店頭売上が前年を上回るなど着実に実績は出ているものの、既存ビジネスの落ち込みをカバーするには至りませんでした。

一方、海外子会社においてもグローバルな景気後退の影響は避けられず、海外ビジネス再構築のため一部子会社を事業縮小したこともあり減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は121億3百万円(前年同期比15.0%減)となりました。

利益面におきましては、生産体制の合理化と組織改革による原価率の改善、並びに、販売費及び一般管理費の削減に注力いたしましたが、売上の落ち込みの影響が大きく、営業損益は14億50百万円の損失(前年同期は51百万円の利益)、経常損益は営業外費用に為替差損1億12百万円を計上したこと等により17億39百万円の損失(前年同期は2億96百万円の損失)、四半期純損益は税効果会計を加味した結果、16億47百万円の損失(前年同期は55億68百万円の損失)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

小売事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は65億17百万円、営業利益は1億96百万円となりました。

卸売事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は55億85百万円、営業損失は0百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ27億49百万円減少し231億23百万円となりました。これは、主に流動資産においては現金及び預金の減少13億18百万円、たな卸資産の減少10億81百万円、及び、受取手形及び売掛金の減少9億49百万円、固定資産においては有形固定資産の増加9億92百万円によるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ12億16百万円減少し83億30百万円となりました。これは、主に有利子負債の減少4億58百万円、及び、未払金の減少4億6百万円によるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ15億33百万円減少し147億92百万円となりました。これは、主に当第3四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少16億47百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から13億18百万円減少し、42億75百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、4億79百万円の増加となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失16億52百万円、売上債権の減少額9億41百万円、たな卸資産の減少額10億29百万円によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、13億3百万円の減少となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出14億65百万円によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、4億58百万円の減少となりました。

これは、長期借入金の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を踏まえ、平成22年6月10日に公表いたしました平成22年10月期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「営業外損益(為替差損)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,317,013	5,635,546
受取手形及び売掛金	913,325	1,862,717
商品及び製品	8,079,770	9,060,864
仕掛品	549,899	510,650
原材料	1,086,859	1,226,102
繰延税金資産	10,603	12,605
その他	1,292,305	1,632,516
貸倒引当金	△30,526	△39,664
流動資産合計	16,219,251	19,901,339
固定資産		
有形固定資産	4,127,871	3,135,162
無形固定資産	106,847	72,704
投資その他の資産	2,669,308	2,763,704
固定資産合計	6,904,028	5,971,571
資産合計	23,123,279	25,872,910
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	380,435	456,194
1年内返済予定の長期借入金	720,136	368,250
未払法人税等	86,063	98,884
賞与引当金	49,217	101,925
その他	587,236	1,287,315
流動負債合計	1,823,088	2,312,569
固定負債		
長期借入金	3,240,613	4,050,750
繰延税金負債	57,163	72,635
再評価に係る繰延税金負債	254,359	265,706
退職給付引当金	2,954,629	2,844,440
その他	750	750
固定負債合計	6,507,516	7,234,282
負債合計	8,330,605	9,546,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,500,000	20,164,948
資本剰余金	8,809,343	19,710,964
利益剰余金	△977,610	△22,913,740
自己株式	△791,882	△791,478
株主資本合計	14,539,850	16,170,694
評価・換算差額等		
土地再評価差額金	361,784	378,385
為替換算調整勘定	△341,372	△265,277
評価・換算差額等合計	20,411	113,107
新株予約権	232,411	42,256
純資産合計	14,792,674	16,326,059
負債純資産合計	23,123,279	25,872,910

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)
売上高	14,246,750	12,103,460
売上原価	6,651,195	5,826,952
売上総利益	7,595,555	6,276,507
販売費及び一般管理費	7,544,496	7,727,007
営業利益又は営業損失(△)	51,058	△1,450,499
営業外収益		
受取利息	18,065	9,188
保険配当金	—	7,900
スクラップ売却益	—	7,938
雑収入	41,222	26,651
営業外収益合計	59,287	51,679
営業外費用		
支払利息	248,999	156,448
為替差損	73,860	112,846
雑損失	84,106	71,868
営業外費用合計	406,966	341,163
経常損失(△)	△296,620	△1,739,984
特別利益		
固定資産売却益	535,785	35,414
貸倒引当金戻入額	4,150	5,376
投資有価証券売却益	20,170	—
未払金戻入益	—	75,324
特別利益合計	560,105	116,115
特別損失		
固定資産除売却損	321,554	2,174
リース解約損	228,982	—
減損損失	1,347,726	25,830
事業場閉鎖損失	3,963,581	—
事業構造改善費用	45,957	—
その他	126,804	150
特別損失合計	6,034,606	28,154
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,771,120	△1,652,023
法人税、住民税及び事業税	68,533	46,917
法人税等還付税額	△17,926	△24,291
法人税等調整額	△253,724	△27,608
法人税等合計	△203,116	△4,982
四半期純損失(△)	△5,568,004	△1,647,041

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)
売上高	4,329,700	3,790,848
売上原価	1,966,953	1,986,761
売上総利益	2,362,747	1,804,087
販売費及び一般管理費	2,307,910	2,391,126
営業利益又は営業損失(△)	54,837	△587,039
営業外収益		
受取利息	4,585	4,170
為替差益	18,341	—
雑収入	10,362	8,671
営業外収益合計	33,289	12,842
営業外費用		
支払利息	69,283	49,966
為替差損	—	96,387
雑損失	10,284	7,342
営業外費用合計	79,567	153,695
経常利益又は経常損失(△)	8,559	△727,892
特別利益		
固定資産売却益	112	2,768
貸倒引当金戻入額	9,939	16,587
未払金戻入益	—	12,177
特別利益合計	10,052	31,533
特別損失		
固定資産除売却損	7,775	1,109
リース解約損	228,982	—
事業場閉鎖損失	16,577	—
減損損失	58,731	6,416
その他	5,427	—
特別損失合計	317,493	7,526
税金等調整前四半期純損失(△)	△298,881	△703,885
法人税、住民税及び事業税	10,952	9,997
法人税等還付税額	—	△1,927
法人税等調整額	△5,098	△16,460
法人税等合計	5,853	△8,390
四半期純損失(△)	△304,735	△695,494

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,771,120	△1,652,023
減価償却費	279,217	296,813
減損損失	1,347,726	25,830
事業場閉鎖損失	1,330,888	—
事業構造改善費用	407,658	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	120	△13,376
賞与引当金の増減額(△は減少)	△88,114	△52,708
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,225,209	110,189
受取利息及び受取配当金	△18,236	△9,262
支払利息	248,999	156,448
為替差損益(△は益)	64,417	25,173
投資有価証券売却損益(△は益)	△20,170	—
固定資産除売却損益(△は益)	△214,230	△33,240
リース解約損	228,982	—
株式報酬費用	—	190,154
売上債権の増減額(△は増加)	437,137	941,111
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,598,082	1,029,108
仕入債務の増減額(△は減少)	252,420	△53,670
その他	△28,380	△187,387
小計	1,830,188	773,159
利息及び配当金の受取額	13,425	8,252
利息の支払額	△221,288	△211,075
法人税等の還付額	17,926	24,291
法人税等の支払額	△123,522	△115,574
事業場閉鎖損失に伴う支出	△279,049	—
事業構造改善に伴う支出	△407,658	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	830,020	479,054
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△38,118	△49,921
定期預金の払戻による収入	162,544	47,803
有形固定資産の取得による支出	△197,480	△1,465,146
有形固定資産の売却による収入	2,071,569	191,195
投資有価証券の売却による収入	172,756	—
その他	78,744	△27,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,250,014	△1,303,174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,098,353	△458,250
その他	△264,114	△404
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,362,467	△458,654
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,455	△36,047
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,297,888	△1,318,821
現金及び現金同等物の期首残高	7,488,868	5,594,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,190,980	4,275,971

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)

	小売事業 (千円)	卸売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,797,853	5,448,897	14,246,750	—	14,246,750
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	98,268	98,268	(98,268)	—
計	8,797,853	5,547,165	14,345,019	(98,268)	14,246,750
営業利益	856,488	345,946	1,202,434	(1,151,376)	51,058

(注) 1 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 事業区分の主な内容

(1) 小売事業……………店舗販売・展示会販売・外商販売等

(2) 卸売事業……………国内卸売・海外卸売・ルート販売等

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)

	小売事業 (千円)	卸売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,517,542	5,585,918	12,103,460	—	12,103,460
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	111,212	111,212	(111,212)	—
計	6,517,542	5,697,130	12,214,672	(111,212)	12,103,460
営業利益又は 営業損失(△)	196,997	△888	196,109	(1,646,609)	△1,450,499

(注) 1 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 事業区分の主な内容

(1) 小売事業……………店舗販売・展示会販売・外商販売等

(2) 卸売事業……………国内卸売・海外卸売・ルート販売等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,811,880	1,268,249	166,620	14,246,750	—	14,246,750
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	345,206	493,364	5,226	843,798	(843,798)	—
計	13,157,087	1,761,613	171,847	15,090,548	(843,798)	14,246,750
営業利益又は 営業損失(△)	1,113,537	151,325	△100,520	1,164,343	(1,113,284)	51,058

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………香港・中国・台湾・韓国・ミャンマー

(2) その他の地域……米国・ベルギー

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,995,315	1,108,144	—	12,103,460	—	12,103,460
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	285,067	464,839	—	749,906	(749,906)	—
計	11,280,382	1,572,984	—	12,853,366	(749,906)	12,103,460
営業利益又は 営業損失(△)	110,110	17,949	△2,034	126,026	(1,576,526)	△1,450,499

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………香港・中国・台湾・韓国・ミャンマー

(2) その他の地域……米国・ベルギー

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)

I 海外売上高(千円)	1,914,355
II 連結売上高(千円)	14,246,750
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.44

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっており、米国・アジア等に区分しておりますが、連結売上高に占める各区分毎の売上高の割合は、いずれも10%未満であります。
- 2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)

	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	1,506,091	1,505,434	3,011,525
II 連結売上高(千円)			12,103,460
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	12.44	12.44	24.88

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっており、米国・アジア等に区分しておりますが、当第3四半期連結累計期間はヨーロッパの海外売上高の連結売上高に占める割合が、10%以上となったため「ヨーロッパ」として区分表示しております。その他の地域の各区分毎の売上高の割合は、いずれも10%未満であります。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
- (1) ヨーロッパ……ベルギー
- (2) その他の地域……香港・中国・台湾・韓国・ミャンマー・米国
- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年2月26日付で、資本金の額の減少及び剰余金の処分を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が12,664百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が7,500百万円となっております。資本金の減少により増加する資本剰余金のうち、23,566百万円を利益剰余金に振替えることにより、欠損の填補を行い、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は8,809百万円、利益剰余金は△977百万円となっております。